

第1回 横浜市国際学生会館第五期指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和4年6月10日（金）14時～16時
開 催 場 所	市庁舎16階16-N3会議室
出 席 者	椛島委員長、太田委員、中村委員、裊委員、 根岸小中学校企画課長、村林企画係長、事務職員内田
欠 席 者	小山委員
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者0人）
議 題	1 委員長選出 2 委員会の公開・非公開 3 議事 (1) 指定管理者公募要項について (2) その他
決 定 事 項	1 委員長に椛島委員を選出。 2 公募要項の審議から非公開とする。 3 評価項目は一部修正を行い、確認・決定は委員長に一任する。
議 事	1 委員長選出 椛島委員を選出。 2 委員会の公開・非公開について 公募要項の審議から非公開とした。 3 議事 (1) 指定管理者公募要項について (事務局) 施設概要及び公募要項の選定基準・評価項目（案）について説明。 (委員) 審査・選定の手続きについて、6「収支計画及び指定管理料」の配点は、第四期指定管理者選定の際の配点はア10点、イ10点だった。今回の案ではア15点、イ5点に配点が変わっている。点数配分の変更理由の背景にある事務局の考えを伺いたい。 (事務局) 6「収支計画及び指定管理料」の配点について、ご指摘のとおり前回はア・イともに10点ずつ。コンプライアンスの視点や、前回の中間評価で指摘を踏まえて、透明性の高い経費執行に重きを置き、配点を変更した。 (委員) 理解した。 (委員) 6のイ「運営費の効率性」については、金額が下がればいいというものではない。その点を踏まえて「効率と効果」という記載にするのはどうか。 (事務局) ご意見をふまえ、評価項目の修正を行う。 (委員) 3「市民の国際理解及び国際交流事業の実施に係る考え方」ア・ウ・エ

	<p>について、多文化共生と国際理解を並べて話すことはいかがなものか。別の言葉で表すとわかりづらいのではないか。「国際理解」で統一するなら統一した方がいい。</p> <p>(事務局) 3「市民の国際理解及び国際交流事業の実施に係る考え方」における「国際理解」という言葉の使い方は、中間評価でも指摘いただいたが、考え方の整理や言い換えが必要かもしれない。</p> <p>(委員) 「多文化共生」まで指定管理者に求めることは、現実的には難しい。</p> <p>(事務局) ご意見を踏まえ、評価項目の修正を行う。</p> <p>(委員) 4ウ「国際性を豊かにする」という表現について、何を対象にしているのか、主語がどこにあるのかがあいまい。地域を豊かにする、国際性を豊かにするという意味なのか。</p> <p>(委員) 多文化共生や国際性を豊かにすることまで指定管理者に求めるのは難しい。</p> <p>(委員) 4ウ「国際性を豊かにする」という表現について、私は多様性という捉え方をした。</p> <p>(委員) 国際性に限定するのではなく、LGBTQ 等も含み、そういった多様性を鑑みた入居者選考と考えるのはどうか。</p> <p>(事務局) 「多様性」と言う表現に言い換えることが適切か。</p> <p>(委員) 同じ建物で生活していても、それぞれ言語や文化が異なる。一言に国際性・国際化といっても、多種多様である。</p> <p>(委員) 結局、「国際性豊か」は「多様性」というところに落ち着くのでは。</p> <p>(事務局) ご意見を踏まえ、評価項目の修正を行う。</p> <p>各委員からの意見に対する事務局からの修正内容の確認・決定は委員長に一任することです承。</p> <p>(2) その他</p> <p>第2回選定評価委員会の日程を決定。9月13日(火)に開催。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 公募要項等関係書類一式</p> <p>2 特記事項</p> <p>今回は、9月13日(火)に開催予定。開催場所については、後日お知らせします。</p>